

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月 9日 更新

事務事業名	二次救急医療圏病院群輪番制運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 齋藤和広
	施策	5	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 小畑照美
	施策の柱	21	地域医療体制の充実		所属班	健康推進班	(内線) 1637
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 1	事業連番 10382	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑦ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池圏域2市2町で協定書を作成し、菊池保健所管内8医療機関(2次医療機関)に依頼し、休日・夜間の救急受診のできる医療機関を確保している。 平成16年度まで熊本県の事業として実施されていたが、平成17年度から各自自治体で実施することとなった。
【業務の流れ】	菊池地域保健医療協議会事務局が計画作成を行なう。 協定書の起案、協定書の取り交わし、支払い事務を行なう。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	菊池圏域2市2町が協定書を交わし、菊池管内8医療機関に委託し夜間当番医を決めて実施。 平成29年度は、1,748日を8医療機関で分担し、市民の利用は278人であった。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 事務局市町(平成30年度は合志市)より、菊池市・大津町・菊陽町に負担金を徴収し、取りまとめたうえ、医療機関に支払いを行なう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 医療機関数 イ: 施設	(単位) 予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 人口 人 イ: 施設
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	夜間でも受診できる(救急医療機関)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 受診者数 人 イ: 施設
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
夜間・休日の救急受診体制が整うことで、住民が安心して受診できるため、受診者数を指標としている。消防署の救急搬送による受診のため、前年度の実績を参考に設定している。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア 施設		8	8	8	8	8	8	8	8
② 対象指標	ア 人		60,008	61,022	60,900	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000
③ 成果指標	ア 人		284	285	280	278	280	280	280	280
投資入費量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円			6,908	6,908	6,908			
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	3,227	3,220	3,289	3,289	3,289	3,296	3,296	3,296
(A) 事業費計	千円	3,227	3,220	10,197	10,197	10,197	3,296	3,296	3,296	
(A)のうち指定経費	千円	3,227	3,220	0	0	0	3,296	3,296	3,296	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	3	1	4	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	62	120	60	254	60	60	60	60
	(B) 人件費計	千円	230	0	239	1,004	239	239	239	239
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,457	3,220	10,436	11,201	10,436	3,535	3,535	3,535

事務事業名	二次救急医療圏病院群輪番制運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 受診しやすい体制が整い、例年並みの受診者数は見込める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 夜間休日の救急対応ができる医療機関の増は今後見込めない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はないので統廃合等はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 実績に併せ最小限の委託料となっているのでこれ以上の削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務に係る時間数は最小限でおこなっておりこれ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 急を要する医療が必要な市民を対象としているので公平であり、行政がしなくてはならない事業である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 委託医療機関の当番日数に応じた補助を市の財源からしているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成21年度から、協力医療機関が増加し、より身近な医療機関の利用ができるようになった。これまで、委託医療機関が菊池市に偏っていた点も考慮され、菊池圏域を菊池市、合志市、菊陽・大津の3圏域に分けての当番日数割り当てとなっている。身近な医療機関への搬送が可能となっている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						